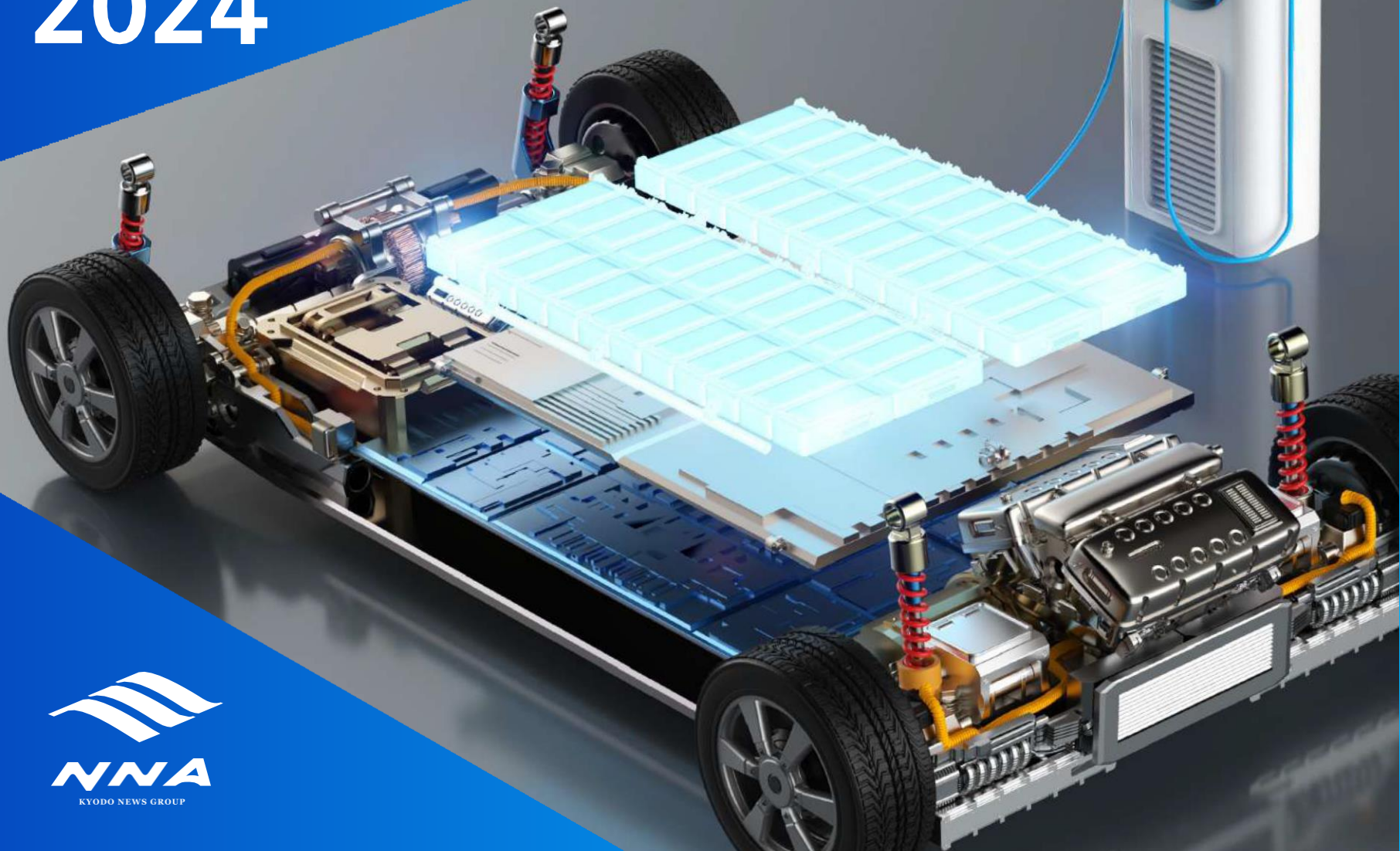


ASEAN EV電池市場 2024



ASEAN EV電池市場 2024

この度NNAでは、ASEAN 5カ国（タイ、インドネシア、マレーシア、ベトナム、フィリピン）のEV電池市場について、メーカー動向や政策、戦略などについてまとめた「ASEAN EV電池市場2024」を発行しました。

目まぐるしく変化するEV電池メーカーの生産、調達、政策、自動車メーカー動向などEV電池に関わる膨大な情報を整理し、分析。巻末には、世界の電池メーカー、自動車メーカーの動向も掲載し、今後の各国のEV市場の展開を見通せる情報を収録しています。

注目ポイント

🔗自動車ブランドのEV電池の調達先および内製状況を網羅

🔗ASEAN 5カ国のEV電池メーカーの企業情報を調査、最新動向を掲載

🔗世界の主要EV電池メーカー動向、自動車メーカーのEV戦略の最新情報を巻末資料にて掲載



発行年月	2023年10月
発行	株式会社NNA
ページ数/形態	A4判（PDF）451ページ
価格	レギュラー版: 264,000円（税抜240,000円） 【同一住所同一部署限定版】 ご購入様が所属されている同一住所同一部署でご利用いただけます。人数の制限はございません。 ※部署、室を統括されるグループ、本部などでのご利用はグローバル版をご利用ください。
	グローバル版: 528,000円（税抜480,000円） 【海外法人含む法人内共同利用版】 世界各地全法人の社員の方がご利用いただけます。購入された国内法人（別法人を通じて購入された場合はご利用される法人）内および海外現地法人（100%子会社）が対象です。
	※中国在住のお客様への販売はしておりません。 ※海外現地通貨による販売価格を設定している地域がございます。詳しくはお問い合わせください。 ※本資料はPDFデータです。購入手続き後、商品をダウンロードするURLをメールにてお届けします。
お申込み・お問い合わせ	https://www.nna.jp/corp_contents/book/asean/231026/ E-mail:research@nna.asia

目次

第 1 章 世界のEV電池市場		第 2 章 ASEAN5カ国のEV電池市場			
1-1. 世界のEV電池市場 1-2. 世界各国の電動化への動き 1-3. 各国政府のEV電池政策 1) 米国 2) 欧州 3) 中国 4) 韓国 5) 日本 1-4. 世界の主要EV電池メーカーの動向 1-5. 世界の主要EV電池メーカーリスト (14社) 1) CATL 2) LG エナジー・ソリューション 3) パナソニック エナジー 4) PPES 5) PEVE 6) BYD 7) サムスン SDI 8) SK オン 9) CALB 10) AESCグループ 11) 国軒高科 (Gotion) 12) 蜂巢能源科技 (SVOLT) 13) 惠州億緯鋰能 (EVE エナジー) 14) 欣旺達電子 (SUNWODA) 1-6. EV電池メーカーの供給先 1-7. 主要自動車ブランドのEV電池調達状況 1-7-1. 主要自動車ブランドの電動化計画 1-7-2. ASEANにおける主要自動車ブランドの電動化 1-7-3. 主要自動車ブランドのNEV電池調達の現状と計画	1-7-4. 主要自動車29ブランドのNEV電池内製と調達の現状と計画 1) ダイハツ工業 2) 日野自動車 3) Honda 4) いすゞ 5) MAZDA 6) 三菱自動車 7) 三菱ふそうトラック・バス 8) 日産自動車 9) SUBARU 10) SUZUKI 11) TOYOTA 12) BMW 13) FORD 14) GM 15) Mercedes-Benz 16) Daimler Truck 17) Renault 18) Stellantis 19) TESLA 20) VOLVO 21) VOLVO Trucks 22) VW 23) AUDI 24) PORSCHE 25) BYD 26) SAIC (上海汽車) 27) GEELY (吉利汽車) 28) GWM (長城汽車) 29) HYUNDAI (現代自動車&KIA)	2-1. ASEAN5カ国のEV電池市場 2-2. ASEAN5カ国のNEV市場 1) タイ 2) インドネシア 3) マレーシア 4) ベトナム 5) フィリピン			
		第 3 章 ASEAN5カ国のEVメーカーリスト			
		3-1. タイ (21社) 3-2. インドネシア (10社) 3-3. マレーシア (4社) 3-4. ベトナム (6社) 3-5. フィリピン (2社)			
		巻末 1. 世界の電池メーカーの動向		巻末 2. 自動車メーカーの動向	
		1) CATL 2) LG エナジー・ソリューション 3) パナソニック エナジー 4) PPES 5) PEVE 6) BYD 7) サムスン SDI 8) SK オン 9) CALB 10) AESCグループ 11) 国軒高科 (Gotion) 12) 蜂巢能源科技 (SVOLT) 13) 惠州億緯鋰能 (EVE エナジー) 14) 欣旺達電子 (SUNWODA)		1) ダイハツ工業 2) 日野自動車 3) Honda 4) いすゞ 5) MAZDA 6) 三菱自動車 7) 三菱ふそう 8) 日産自動車 9) SUBARU 10) SUZUKI 11) TOYOTA 12) BMW 13) FORD 14) GM 15) Mercedes-Benz	
				16) DaimlerTruck 17) Renault 18) Stellantis 19) TESLA 20) VOLVO 21) VOLVO Trucks 22) VW 23) AUDI 24) PORSCHE 25) BYD 26) 上海汽車 27) 吉利汽車 28) 長城汽車 29) HYUNDAI (現代自動車&KIA)	

掲載データ・図表

第1章 世界のEV電池市場

図表 1	世界のNEV電池市場規模の推移
図表 2	世界のNEV電池需要予測
図表 3	EVとPHEVの世界販売台数の推移（2013～2022年）
図表 4	世界のNEV需要予測
図表 5	電池材料メタル需要見通し
図表 6	電池材料メタルの価格の推移
図表 7	電池材料メタルの埋蔵量・生産量
図表 8	世界各国のガソリン車販売禁止目標
図表 9	世界各国のネットゼロ目標年
図表 10	米国のEV普及への政策
図表 11	米インフレ抑制法におけるEV優遇措置
図表 12	米インフレ抑制法に対する主要各国の対応
図表 13	米国でのEV電池とEVメーカー企業動向
図表 14	欧州のEV関連政策
図表 15	EU電池規制案
図表 16	中国におけるNEV電池産業発展に向けた関連政策
図表 17	韓国の二次電池産業の国家戦略
図表 18	韓国「2030 二次電池産業発展戦略（Kバッテリー発展戦略）」
図表 19	韓国バッテリー同盟（2022年11月）
図表 20	韓国のEVエネルギー効率ラベル表示制度
図表 21	韓国大手EV電池メーカー3社の韓国国内での動き
図表 22	日本のNEV電池産業発展に向けた政策
図表 23	世界の主要電池メーカーのNEV電池搭載量の推移
図表 24	世界の主要電池メーカーの電池年産目標（2025年）
図表 25	世界の主要電池メーカーの総生産能力見通し（ESS含む）（2021～2030年）
図表 26	世界の主要電池メーカー別EV電池の販売実績（2022年）
図表 27	世界の主要電池メーカー10社のEV電池の販売価格（2022年）
図表 28	世界の主要電池メーカーのEV電池の技術戦略
図表 29	CATLの電池・電池材料生産拠点
図表 30	LG エナジーの電池生産拠点
図表 31	Panasonic エナジーの電池生産拠点
図表 32	PPES（プライムプラネットエナジー＆ソリューションズ）の電池生産拠点
図表 33	PEVE（プライムアースEVエナジー）の電池生産拠点
図表 34	BYD の電池生産拠点
図表 35	サムスン SDI の電池生産拠点
図表 36	SK オンの電池・電池材料生産拠点
図表 37	SK オンの電池材料の主要パートナーシップ
図表 38	CALB の電池生産拠点
図表 39	AESC の電池生産拠点
図表 40	国軒高科（Gotion）の電池・電池材料生産拠点
図表 41	蜂巢能源科技（SVOLT）の電池・電池材料生産拠点
図表 42	惠州億緯鋅能（EVE エナジー）の電池生産拠点
図表 43	惠州億緯鋅能（EVE エナジー）の電池材料生産拠点
図表 44	SUNWODA の電池・電池材料生産拠点
図表 45	主要EV電池メーカーのおもな供給先
図表 46	主要自動車ブランドのNEV生産目標
図表 47	主要自動車ブランドのNEV販売計画
図表 48	ASEANにおける主要ブランド別NEV生産計画
図表 49	ASEANにおける主要ブランド別NEV販売状況
図表 50	主要自動車ブランドのNEV電池調達の現状と計画（まとめ）
図表 51	主要自動車29ブランドのNEV電池内製と調達の現状と計画

第2章 ASEAN5カ国のEV電池市場

図表 52	ASEAN5カ国のEV電池製造状況
図表 53	ASEAN5カ国の自動車生産と新車販売の推移
図表 54	ASEAN5カ国政府のNEV生産目標
図表 55	ASEAN5カ国政府のNEV普及目標
図表 56	ASEAN5カ国政府のEV一般充電ステーション設置目標
図表 57	EV電池関連のタイ BOI 奨励事業
図表 58	EV充電のタイ BOI 奨励事業
図表 59	2017～2022年のタイ BOI 認可のNEV製造事業
図表 60	タイ物品税局とEV3パッケージ覚書を締結した企業数
図表 61	タイ財務省によるEV製造に対するインセンティブ（EV3.0）
図表 62	タイ財務省によるEV製造に対するインセンティブ（EV3.5）
図表 63	EV電池製造事業に対するタイ BOI 補助金パッケージ案
図表 64	電池サプライチェーン構築のためのタイ政府による支援策（BOI 案）
図表 65	タイ政府のEV電池産業に対するインセンティブ計画
図表 66	タイBEV部品の輸入関税（2023年5月発効）
図表 67	タイ政府のZEV目標（国家EV政策委員会 2021年3月24日承認）
図表 68	タイ国家EV政策委員会のNEV目標
図表 69	タイのNEV累計登録台数（2023年6月末時点実績）
図表 70	タイのNEV新規登録台数の推移（2016～2023年6月）
図表 71	タイ政府によるNEV振興策
図表 72	インドネシア国内のEV電池需要予測（2023～2035年）
図表 73	インドネシアの自動車産業ロードマップ（2021～2030年）
図表 74	インドネシア企業省によるEV・EV電池産業・ESSのロードマップ
図表 75	インドネシア政府のEV生産・普及目標（2025～2035年）
図表 76	インドネシア政府によるNEV振興政策
図表 77	インドネシアEV産業に義務付けられた現地調達率
図表 78	インドネシア国内で生産するEVの現地調達率の算定に関する比重
図表 79	インドネシア政府のNEVに対するインセンティブ
図表 80	インドネシアのEV関連融資への拡大優遇策（2022年11月公表）
図表 81	インドネシアSISAPIRalに登録されている支援金対象のEVバイク（2023年9月時点）
図表 82	インドネシアのEV国内生産目標台数（2025～2035年）
図表 83	インドネシアのNEV四輪モデル別国内生産台数（2022～2023年1～7月）
図表 84	インドネシアのNEV四輪車種別新車販売台数（2019～2023年1～7月）
図表 85	インドネシアのNEV四輪モデル別新車販売台数（2021～2023年1～7月）
図表 86	マレーシア政府の次世代自動車生産および普及目標（2025～2040年）
図表 87	マレーシアのNEV四輪登録台数（2018～2022年）
図表 88	マレーシアのNEV四輪普及率（2018～2022年実績、2030と2050年政府目標）
図表 89	マレーシアのEV四輪販売台数（2018～2022年）
図表 90	マレーシアのEV四輪普及率（2018～2022年）
図表 91	マレーシアのEV充電設備設置数（2018～2022年）
図表 92	マレーシア新国家自動車政策「NAP2020」
図表 93	マレーシアにおけるEV普及に向けた2021～2030年アクションプラン
図表 94	マレーシアのEV関連への投資優遇政策
図表 95	マレーシアの「低炭素化目標 2040」
図表 96	ベトナム政府のEV生産および普及目標
図表 97	2035年を見据えた2025年までのベトナム自動車産業マスタープラン
図表 98	2035年までのベトナム自動車産業発展計画
図表 99	VAMAによる自動車市場発展に向けた3段階のシナリオ（2021～2050年）
図表 100	ベトナムのEV特別消費税（SCT）率（2022年3月施行）
図表 101	ベトナムの自動車登録率（2022年3月以降）
図表 102	フィリピン政府のEV生産・普及目標
図表 103	フィリピン政府のEVシェア（新車販売に占める割合）目標
図表 104	フィリピンの車種別EV登録台数
図表 105	フィリピン政府のEV産業の包括的ロードマップ（CREVI）
図表 106	フィリピン新車販売のエネルギー別構成比（2019～2030年）
図表 107	フィリピンEV産業開発法
図表 108	フィリピンEV産業育成法
図表 109	フィリピン政府によるNEV振興策

掲載データ・図表 2

第 3 章 ASEAN5カ国のEV電池メーカーリスト

- 3-1. タイ (21社)
- 3-2. インドネシア (10社)
- 3-3. マレーシア (4社)
- 3-4. ベトナム (6社)
- 3-5. フィリピン (2社)

第3章 ASEAN5カ国のEV電池メーカーリスト

3-1. タイ

1. EA (エナジー・アブソルート)

EA (エナジー・アブソルート) Energy Absolute PCL	
事業内容	E V・E V電池関連事業、再生可能エネルギー事業、バイオ燃料事業
設立年	2006 年
代表者名	Somchaiyuk Engtrakul
本社所在地	16th Floor, AIA Capital Center Building 89 Ratchadaphisek Road, Dindaeng Bangkok 10400, Thailand
電話/FAX	+66-2248-2488~92 / +66-2248-2493
URL	https://www.energyabsolute.co.th/
メールアドレス	ir@energyabsolute.co.th
資本金	4 億 200 万
売上高	81 億
電池の生産拠点	タイ、中国、インドネシア、マレーシア、ベトナム、フィリピン
おもな動向	2023 年 7 月 惠州 1 号工場 2023 年 1 月 EA の Form の組 2022 年 10 月 E V の Thai 2022 年 10 月 Thai 2022 年 10 月 E V の Absc 2022 年 9 月 ユンサ 2022 年 9 月 CFM 2022 年 8 月 費用 5 億 クラウドを計画、販売価格は

巻末 1. 世界の電池メーカーの動向

- 1) CATL
- 2) LG エナジーソリューション
- 3) パナソニック エナジー
- 4) PPES
- 5) PEVE
- 6) BYD
- 7) サムスン SDI
- 8) SK オン
- 9) CALB
- 10) AESC
- 11) 国軒高科 (Gotion)
- 12) 蜂巢能源科技 (SVOLT)
- 13) 惠州億緯鋰能
- 14) 欣旺達電子

世界の電池メーカーの動向

1) CATL (寧徳時代新エネルギー股份有限公司)

2035 年までに	パナソニック全体のカーボンニュートラルを達成 (2023 年 4 月公表)
2024-2030 年	Honda に E V 電池を 7 年間供給。計 123GWh 分。中国江蘇省宜春市で建設中の新工場 で集中生産 (2022 年 12 月公表)
2026 年まで	重慶小康工業集団に電池を供給 (2022 年 4 月公表)
2022-2026 年まで	浙江遠東汽配(浙江吉利控股集团傘下)に 57GWh 以上の電池を供給(2022 年 1 月公表)
2022-2026 年まで	重慶小康新能源汽車(重慶小康工業集団傘下)に電池を供給 (2021 年 9 月公表)
2021 年 8 月から 5 年間	成都建寧科技 (中国新材料製造) と電池材料開発で提携。リチウムイオン電池用分離膜など の材料や電池の性能を高める新材料を開発する計画。提携期間は 5 年 (2021 年 8 月公表)
2025 年 12 月末	中国河南省洛陽市伊洛区動力電池生産拠点でフル稼働開始。年産能力 40GWh。投資額 最大 140 億元。生産拠点の敷地面積は約 113 万㎡。運営は中州時代新能源科技 (CATL 子会社)(2022 年 9 月公表)
2025 年 12 月末まで	寧波容百新能源科技 (中国正極材製造) から正極材調達。CATL は三元系正極材を容百 科技から優先的に調達 (2022 年 1 月公表)
2025 年 12 月末まで	TESLA にリチウムイオン電池を供給 (2021 年 6 月公表)
2023 年 8 月から	強化鋳鋼 (四川強化鋳鋼集団子会社/中国リチウム製造) から計 4 万 1,000 トンの水酸化物 リチウムを調達(2023 年 8 月公表)
2025 年 12 月末まで	Fisker Automotive (アメリカ/米新興 E V 製造) に毎年 5 GWh 超の電池を供給 (2021 年 11 月公表)
2025 年	カーボンニュートラル実現 (2023 年 4 月公表)
2025 年	欧州 2 か所目の工場、Debrecen (ハンガリー/東部ヨーロッパ) 工場を量産を開始。2023 年 夏着工、2024 年試運転開始。投資額 73 億 4,000 万 EUR。年産能力 100GWh。 Mercedes-Benz、BMW、Stellantis、VW などに電池セルと電池モジュールを供給 (2023 年 4 月公表)
2025 年	BMW に 4680 円筒型電池セルを供給。BMW は 2025 年から Neue Klasse (ノイエクラッ セ) E V に搭載 (2022 年 5 月公表)
2025 年	Mercedes-Benz の S U V「Gクラス」に新型高エネルギー密度電池を供給。2025 年以降に 搭載車発売。新型電池の負極材料には黒鉛に代わりシリコンを採用。電池のエネルギー密度は 従来比 20~40%高まり 1 リットル当たり 800Wh 以上に達する (2022 年 5 月公表)
2025 年	中国湖北省宜昌市電池材料産業園が全面稼働開始。年間 400 万台分の N E V に電池 材料を供給。年産能力は正極 36 万トン、リチウム酸化物 22 万トン、三元系材料 18 万トン、コバルト酸リチウムイオン 4 万トン、使用済電池リサイクル規模は年 30 万トン。広東 邦普循環科技 (邦普リサイクル/中国電池リサイクル/CATL 子会社) などが運営 (2021 年 12 月公表)
2025 年までに	リチウムイオン電池の年産能力が 670GWh 以上 (2022 年 5 月公表)

掲載データ・図表 3

巻末 2. 自動車メーカーの動向

- 1) ダイハツ工業
- 2) 日野自動車
- 3) Honda
- 4) いすゞ
- 5) MAZDA
- 6) 三菱自動車
- 7) 三菱ふそう
- 8) 日産自動車
- 9) SUBARU
- 10) SUZUKI
- 11) TOYOTA
- 12) BMW
- 13) FORD
- 14) GM
- 15) Mercedes-Benz
- 16) Daimler Truck
- 17) Renault
- 18) Stellantis
- 19) TESLA
- 20) VOLVO
- 21) VOLVO Trucks
- 22) VW
- 23) AUDI
- 24) PORSCHE
- 25) BYD
- 26) 上海汽車
- 27) 吉利汽車
- 28) 長城汽車
- 29) HYUNDAI

自動車メーカーの動向	
11) TOYOTA	
2035 年までに	世界販売の新車の C O 2 排出量を 2019 年比で 50%以上削減 (2023 年 4 月公表)
2035 年までに	西欧市場の新車販売すべてゼロエミッション車 (Z E V) とする (2021 年 12 月公表)
2035 年までに	LEXUS の新車販売は 100% E V とし、LEXUS は N E V 専用ブランドになる (2021 年 12 月公表)
2035 年までに	全世界の工場で排出する C O 2 をゼロにする (2021 年 6 月公表)
2030 年未だに	LG 化学米ネシー工場から、米ノースカロライナ州工場で生産する E V 電池用に正極材を調達。Toyota Motor Engineering & Manufacturing North America, Inc. (TEMA、トヨタ・モーター・エンジニアリング・アンド・マニュファクチャリング・ノースアメリカ/北米研究開発・製造統括会社/米ケンタッキー州) が調達。契約金額は 3,200 億円 (2023 年 10 月公表)
2030 年	エネコトテクノロジーズ (京都府/京都大学発新鋭) と共同開発した次世代太陽電池のペロブスカイト型太陽電池を E V の屋根に搭載し発売 (2023 年 6 月公表)
2030 年までに	E V 関連に 5 兆円を投資 (2023 年 5 月公表)
2030 年までに	世界新車販売の C O 2 排出量を 2019 年比で 33%削減 (2023 年 4 月公表)
2030 年までに	英国で H V 販売が 2030 年までに全面禁止された場合、英国での生産を撤退 (2022 年 8 月公表)
2030 年までに	世界販売 : B E V 販売 30 種 350 万台 (従来 E V 180 万台、次世代 E V 170 万台) (2023 年 6 月公表)
2030 年までに	北米市場・欧州市場・中国市場の新車販売 : 100% B E V
2030 年までに	電池年産能力 280GWh に到達。車両と電池を一体開発し、車載電池の原価低減を進める。2020 年代後半までに 1 台当たりの電池コストの半減を目指す (2021 年 12 月公表) 日本市場と中国市場では、Panasonic との電池製造合弁会社 PEVE (プライムアース EV エナジー株式会社)、PPES (プライムプラネットエナジー&ソリューションズ株式会社) と提携。CATL や BYD とも協業 (2021 年 9 月公表)
2027-2028 年	全固体電池を実用化 (2023 年 6 月公表)
2027-2028 年	ハイボート型高コックル正極/リチウムイオン電池 (リバ/パフォーマンス版) を実用化 (2023 年 6 月公表)
2026-2027 年	次世代ハイボート型リチウムイオン電池の普及版を実用化 (2023 年 6 月公表)
2026 年	次世代 B E V を導入。次世代版角型電池を搭載し航続距離 1,000km を実現 (2023 年 6 月公表)
2026 年	世界市場に E V 10 種投入、世界 E V 販売が年間 150 万台に到達 (2023 年 4 月公表)
2026 年	次世代 E V を開発、LEXUS で展開 (2023 年 2 月公表)
2025 年	LG エナジーから北米で電池の調達を開始 (2023 年 10 月公表)
2025 年	York Township, Michigan (米ミシガン州ヨーク・タウンシップ) に E V 電池試験施設を設置、事業開始。投資額 5,000 万 USD (2023 年 6 月公表)
2025 年	North Carolina (米ノースカロライナ州) リチウムイオン電池工場稼働開始。Toyota Battery Manufacturing, North Carolina (TBMNC、トヨタ/バンデル・マニュファクチャリング・ノースカロライナ/北米 TOYOTA と豊田通商共同出資の生産子会社) の工場。電池リサイクル網も整備 (2022 年 8 月公表)

巻末 2-16

Copyright© NNA All right reserved



調査資料例①

第 1 章 世界のEV電池市場



世界のNEV電池市場規模



電池材料統計
需要見通し、価格の推移、埋蔵量、生産量など



米国でのEV電池とEVメーカー企業動向



電池メーカーのNEV電池搭載量の推移、年産目標、販売実績、価格



電池メーカー14社のEV電池の技術戦略



世界14社のEV電池メーカーリスト、電池・電極材料生産拠点

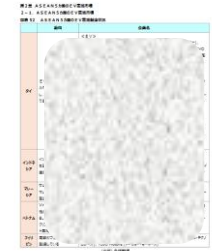


自動車ブランドのNEV電池調達の現状と計画

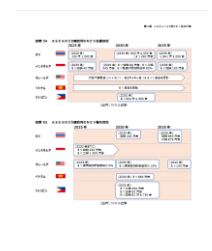


自動車29ブランドのNEV電池内製と調達の現状と計画

第 2 章 ASEAN5カ国のEV電池市場



ASEAN5カ国のEV電池製造状況



ASEAN5カ国政府のNEV生産、普及目標



タイのNEV新規登録台数の推移



フィリピン政府のEV産業のロードマップ、2040年までのEV導入目標

